

建設業

しんぶん

Mar.2024

3

No.556

建設産業の今を伝え未来を考える

特集

建設キャリアアップシステム



今月のCCUS

就業履歴を確認するには？



建設キャリアアップシステム

人を大切に育てる新しいシステムです
事業者・技能者みなさまのご登録をお願いします



一般財団法人
建設業振興基金

「建設現場へGO!」掲載情報募集中

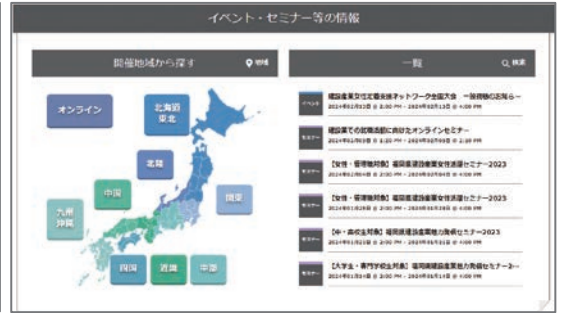
建設産業人材確保・育成推進協議会(人材協)

「建設現場へGO!」は人材協が運営する建設産業のJOBポータルサイトで、建設産業の担い手確保・育成に関するイベントの情報や団体様の広報コンテンツの紹介等を行っています。本WEBサイトへの情報掲載について以下の募集フォームにて受け付けておりますので、ぜひご活用ください!

■「建設現場へGO!」TOPページ



■建設産業に関する情報掲載



■情報掲載依頼募集フォーム



こちらの
フォームから
お申込みが可能!



記事掲載申込は
こちら!



イベント掲載申込は
こちら!

掲載依頼の流れ



- ①「建設現場へGO!」のTOPページから情報掲載依頼申込フォームへ
- ②掲載情報の種類を選択
- ③フォームに沿って必要事項を入力
- ④確認画面で内容を確認し入力完了!

ご不明点等ございましたら、お気軽にお問合せください!

建設産業の今を伝え未来を考える

編集発行

一般財団法人 建設業振興基金 〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目MTビル2号館
TEL : 03-5473-4584 FAX : 03-5473-1594
URL : <https://www.kensetsu-kikin.or.jp/>

CONTENTS

特集

建設キャリアアップシステム

02

- データで見るCCUSの普及状況
- 多様な現場に対応する就業履歴蓄積環境整備
- 関連制度との連携を強化
- 現場管理を効率化するために
- 登録技能者のお役に立ちたい
- CCUSをより多くの皆様に知っていただくために

FOCUS

工業高校紹介

富山県立富山工業高等学校

08

- インタビュー：高原 洋平 先生

PRESCRIPTION

日本経済の動向

10

- 「賃金・物価の好循環」実現に向けた現在地

建設経済の動向

11

- 新たな教訓突き付けた能登半島地震

連載

上限規制の施行まで残りわずか!!
働き方改革への最終チェック

12

- 最終回【第9回】
採用

連載

クイズ 名建築のつくり方

14

- 【第15回】
なにわの海の時空館

お役立ち連載

建設キャリアアップシステム
を活用しよう!【第16回】

16

いつでもチェック!!

建設業
しんこうWeb建設産業の今を伝え
未来を考える「建設業しんこう」は
Webでも
ご覧いただけます。

しんこうWeb

検索

<https://www.shinko-web.jp/>メルマガ登録は
コチラから!「建設業しんこう」に関するご意見・ご要望
TEL : 03-5473-4584 (企画広報部)
MAIL : kikaku@kensetsu-kikin.or.jp印刷：日経印刷株式会社
©本誌記事の無断転載を固く禁じます。



Construction Career Up System

特集

建設キャリアアップシステム



CCUS(建設キャリアアップシステム)は、2019年4月の運用開始から5年となります。

これまで、業界団体と行政による一体的な取り組みと
関係の皆様のご熱意により、着実に普及が進んできました。

CCUSが建設業界共通の制度インフラとしてしっかりと定着し機能するよう、
現場での運用をはじめ、ご登録いただいた技能者や事業者にとって役に立つ
使い勝手の良いシステムを目指し、これからも、就業履歴の蓄積環境の整備、
関連制度との連携強化、現場管理の効率化に資する取り組みなどを進めていきます。



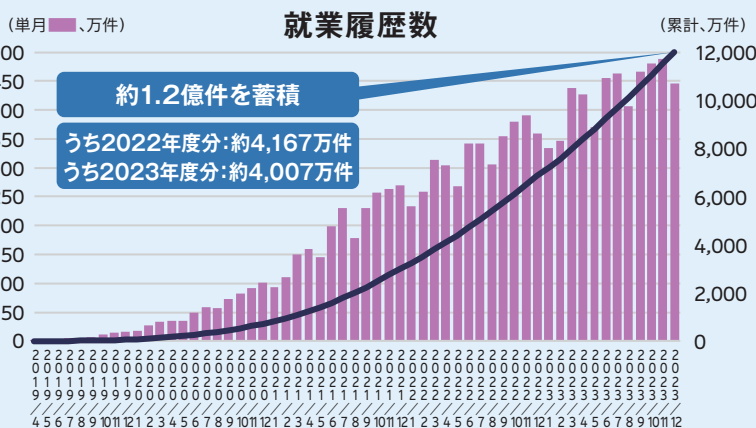
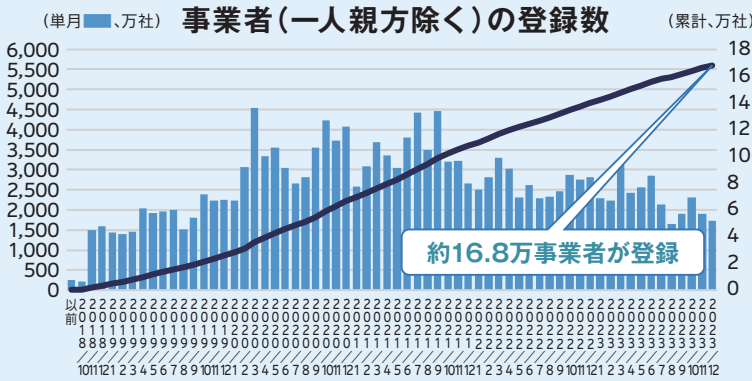
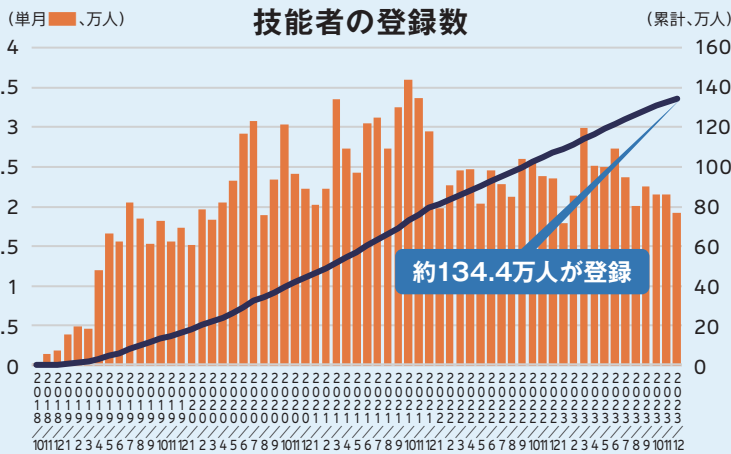
データで見るCCUSの普及状況 2023年12月末までの実績

技能者・事業者の登録及び就業履歴状況

- **技能者は約134.7万人が登録済**
(技能者の3人に1人超が利用する水準に。)
- **事業者(一人親方除く)は約16.8万社が登録済**
(工事实績のある許可事業者の半数相当に。)
- **一人親方は約8.3万者が登録済**
(※一人親方は、技能者の登録数にも含む。)
- **現場での利用数※は逡増傾向**
(※就業履歴数。直近では月450万件で推移。)

都道府県別 技能者・事業者登録状況

技能者(現住所)		事業者(所在地)	
都道府県	技能者登録数	都道府県	事業者登録数
合計	1,346,640	合計	250,273
北海道	69,970	北海道	10,075
青森県	18,483	青森県	1,838
岩手県	17,331	岩手県	1,823
宮城県	40,256	宮城県	5,395
秋田県	9,316	秋田県	1,192
山形県	10,503	山形県	1,441
福島県	32,497	福島県	3,555
茨城県	27,741	茨城県	4,946
栃木県	17,303	栃木県	3,439
群馬県	17,124	群馬県	3,379
埼玉県	90,763	埼玉県	16,801
千葉県	75,879	千葉県	12,228
東京都	131,079	東京都	29,224
神奈川県	97,374	神奈川県	19,109
新潟県	22,100	新潟県	2,762
富山県	11,084	富山県	1,843
石川県	13,663	石川県	2,731
福井県	9,443	福井県	1,595
山梨県	7,845	山梨県	1,364
長野県	17,988	長野県	3,221
岐阜県	22,812	岐阜県	4,382
静岡県	32,320	静岡県	6,839
愛知県	83,603	愛知県	18,144
三重県	18,448	三重県	3,987
滋賀県	8,590	滋賀県	1,698
京都府	19,639	京都府	4,659
大阪府	96,396	大阪府	21,500
兵庫県	41,901	兵庫県	9,093
奈良県	7,829	奈良県	1,432
和歌山県	5,374	和歌山県	1,000
鳥取県	5,318	鳥取県	797
島根県	7,978	島根県	985
岡山県	19,507	岡山県	3,924
広島県	35,167	広島県	7,730
山口県	14,592	山口県	2,949
徳島県	7,619	徳島県	1,375
香川県	12,328	香川県	2,099
愛媛県	12,903	愛媛県	2,341
高知県	6,598	高知県	1,016
福岡県	54,317	福岡県	11,115
佐賀県	8,850	佐賀県	1,296
長崎県	11,673	長崎県	2,339
熊本県	16,269	熊本県	2,605
大分県	9,084	大分県	1,396
宮崎県	11,669	宮崎県	1,721
鹿児島県	17,943	鹿児島県	2,569
沖縄県	20,171	沖縄県	3,321



※一人親方含む

CCUSの普及促進のための取り組み

多様な現場に対応する就業履歴蓄積環境整備

～現場に応じたカードリーダー・APIシステムで就業履歴の蓄積へ～

現場入場時にCCUSカードをカードリーダーにタッチすることで、就業履歴は蓄積されていきますが、現場は必ずしも一律なものではありません。

CCUSに直接就業履歴を蓄積する方法としては、PC接続を前提とした安価なカードリーダー、持ち歩き可能でデータ蓄積可能なカードリーダー（ロギング機能付きカードリーダー）、お手持ちのiPhoneに「建レコ」アプリをダウンロードしてカードリーダーとして活用する方法（iPhoneのカードリーダー化）があります。

また、CCUS以外の就業履歴を蓄積するシステムとCCUSをAPI連携することで就業履歴を蓄積する方法もあります。携帯電話からの発信や、顔認証により現場の入退場を登録することができます。

現場の状況、入場する技能者の状況などを考慮して選択いただき、適切に就業履歴を蓄積してください。

●カードリーダーのロギング機能（データ蓄積）

【従来機能】



現場毎に、パソコンと
カードリーダーを設置
≫ **置き場が必要**

ロギング機能を活用すると

【ロギング機能】



現場ではカードリーダーのみ
≫ **置き場を気にする必要なし**
(例えば、管理者が胸ポケットに入れて持ち歩いてよい)

【事務所】



事務所に行った際に、
パソコンにつなげばよい

カードリーダーの就業履歴の蓄積上限である2,000件を超えなければ、それまでの間はパソコン等（「建レコ」をインストールしたもの）につなげる必要はありません。（そのため、山奥の現場など通信回線が届かない場所でも利用できます。）

●iPhoneのカードリーダー化

【従来】



現場毎に、「PC等」と
「カードリーダー」が必要

【iPhoneのカードリーダー化を 活用すると】



カードリーダーは不要（iPhoneのみでOK!）
iPhoneの裏側をCCUSカードにタッチする

●携帯電話から発信、 顔認証による入退場登録



携帯電話発信
(ガラケー・スマホ)

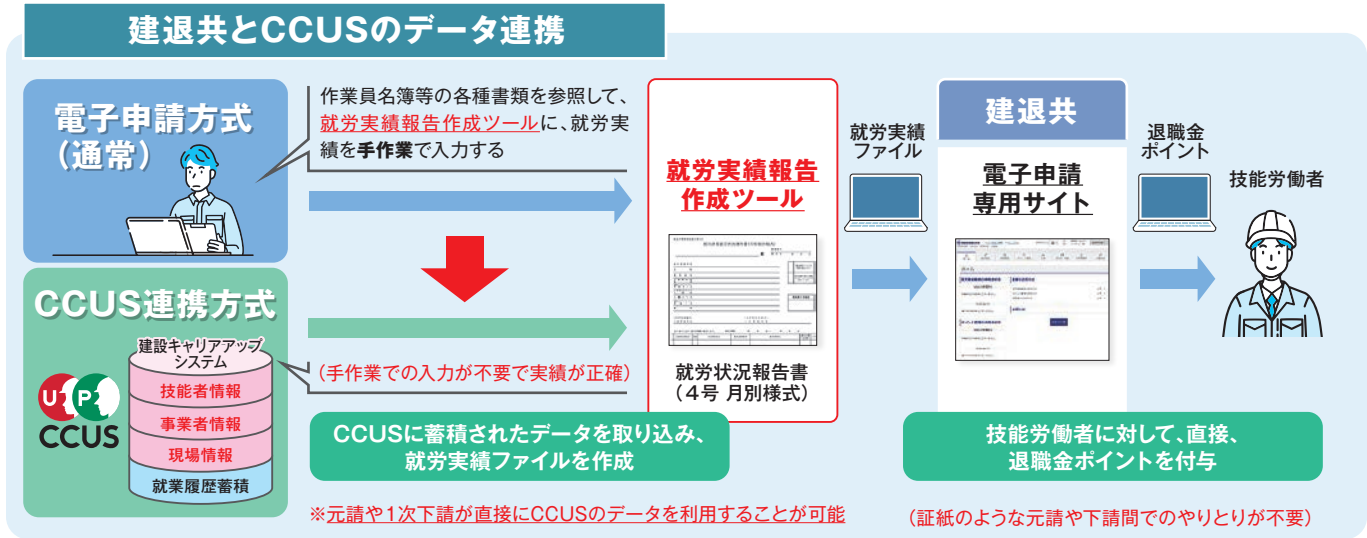


顔認証

関連制度との連携を強化

～建退共電子申請方式とのデータ連携で事務の効率化～

建退共の電子申請方式とのデータ連携によって、CCUSに蓄積した就業履歴等のデータを建退共の就労実績報告作成ツールに取り込むことが可能になり、就労実績が正確に、かつ事務の効率化が図られます。また、これらの作業を元請事業者が一括で作業することも可能です。



現場管理を効率化するために

～安全書類出力機能で負担軽減、効率化～

元請事業者・下請事業者それぞれが保有する情報をCCUSへデータ入力することにより、全建統一様式に準じた「安全書類」の全項目がCCUSで出力可能です。

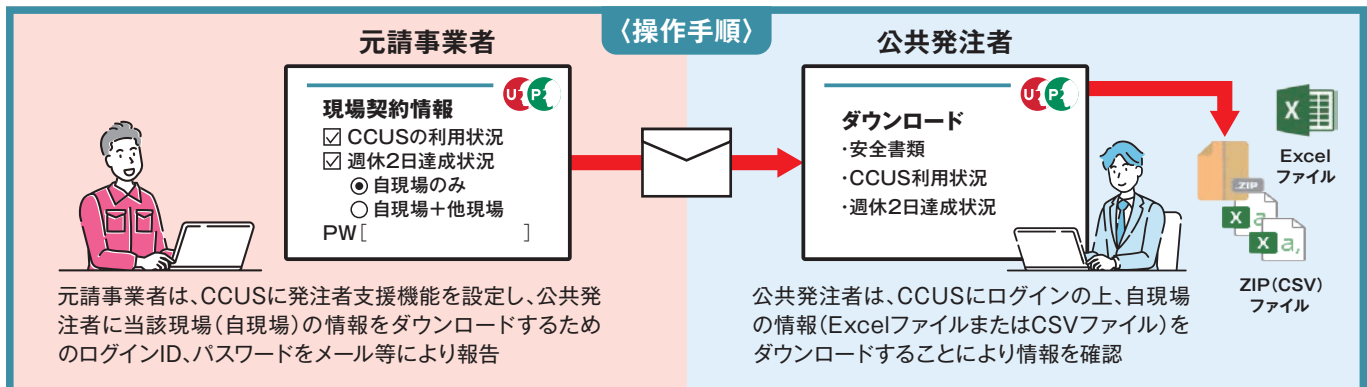
元請事業者は下請事業者からの書類の提出にかえて、CCUSへの入力を指示することで手間が省けます。さらに、施工体制の変更の反映も容易に確認できます。

また、元請事業者は、安全書類などについて、CCUSを経由して公共発注者に電子データで確認してもらうことも可能です。

●出力できる安全書類 ※全建統一様式(改訂5版)に準じたもの

- 施工体制台帳
- 施工体系図
- 下請負業者編成表
- 再下請負通知書
- 作業員名簿(社会保険加入状況組込版)

●CCUSを経由した確認



登録技能者のお役に立ちたい

～技能者パスポートで自分のキャリアを確認する～

「技能者パスポート」は、登録技能者が、スマホで自らの就業履歴、資格情報、レベル・レベルアップの目安などを確認できるアプリです。

2023年に、技能者参加のもと、実証実験を行いました。2024年の実装を目指しています。

●メニュー画面及び表示項目例(実証実験時)

就業履歴一覧

〈就業履歴一覧〉
■年月選択
●日、曜日、現場名、入場、退場

〈就業履歴詳細〉
■入場日
●現場名、立場、作業内容、職種、入場時間、退場時間

資格情報一覧

〈資格情報一覧〉
■年月選択
●〇〇士、資格の種類

〈資格情報詳細〉
■職種
●資格者証画像、ID、資格コード、資格名称、有効期限年月日

レベルアップ

〈レベルアップ対象職種一覧〉
■該当職種
●レベル2…、レベル3…

〈レベルアップ〉
■条件
●就業日数、判定
●必要資格

基本情報

〈基本情報〉
●技能者ID、技能レベル、職種、氏名、生年月、初回登録年、有効期限

～CCUS応援団の特典提供～

CCUS応援団は、CCUSの取り組みに賛同いただいた各種企業等からの特典を、登録技能者の皆さんへ提供するものです。CCUSカードの提示での割引や各種サービスを受けることができます。

50以上の様々な特典を用意しています。詳しくはCCUSホームページの下段、技能者特典コーナーでご確認ください。

今後、さらにCCUS応援団の特典を容易に活用、実感いただけるよう、工夫を図っていきます。

*事業者向けにも30特典あります。

*CCUS応援団チャンネルで各種特典を動画で紹介しています。こちらもご覧ください。

CCUSをより多くの皆様に知っていただくために

～CCUS現場ステッカーデザイン公募～

CCUSの運用、就業履歴蓄積現場であることを、現場の技能者・関係者が認識するとともに、一般の方々へのアピールとして、建設現場の入場口や囲い等へのステッカー貼付を積極的に推奨します。

ステッカーデザインについては、現場に応じて選べるよう、こども・高校生・一般の部門を設けて、広く募集しました。老若男女、プロ・アマを問わずご応募いただき、多くの方にCCUSを知っていただく機会となりました。

選ばれたデザインは、どなたでも自由にダウンロードして現場に貼付できます。



～CCUSチャンネルを活用しよう～

CCUSでは、YouTubeの専用チャンネルを用意しています。CCUSに関する情報を分かりやすくお伝えするために随時更新しています。どなたでも視聴可能です。

CCUS登録・運用のポイントやCCUSに関する最新の動向等々50本以上の動画を公開中です。是非ご視聴ください。

*チャンネル登録をお願いします。

*CCUS応援団専用チャンネルも公開中。

●「CCUSかんたんガイド」シリーズ



CCUSかんたんガイド 現場運用シリーズ 「自社技能...



CCUSかんたんガイド 現場運用シリーズ 「作業員名簿パ...

●CCUS Focus On



CCUS Focus On 第6回 草野作工株式会社

●各種の「CCUS解説動画」



必見！事業者⇄技能者関連付け（変更申請の方法）



建設キャリアアップシステム（CCUS）概要

●CCUS NEWS



CCUS NEWS「京都の管工事業～社長と職人の本音～」

2023年10月から事業者更新手続きが始まっています

CCUSの事業者登録の有効期限は、新規登録完了月から数えて5年後の月末です。更新手続きは有効期限の6ヶ月前から可能で、申請自体は簡素化が図られており、登録内容に変更があるものについては確認書類等をご用意いただきますが、変更が無ければ、インターネット申請であればワンクリック、認定登録機関での申請であっても必要最小限の書類で手続き可能です。

詳しくはCCUSホームページの「事業者更新」ボタンからご確認ください。

運用開始から5年。これからもCCUS！

2019年に本格運用を開始したCCUSは、順調にいけば、2024年中に技能者登録が150万人を達成する見込となりました。建設現場における普及は未だ途上ではありますが、多くの事業者及び技能者の方に登録いただき、感謝しております。

全ての技能者と事業者がIDを持ち、共通のプラットフォームを利用するこのシステムは、他に類を見ない、建設業挙げての先進的な取り組みです。働き方改革、技能者の処遇改善につなげていくため、引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

FOCUS

好奇心を広げ、新たな企画を発想! 生徒やこどもたちを夢中にさせる アイデアの源泉は?

日本海側屈指のものづくり県である富山県において、県内最大規模を誇る伝統校として地域に親しまれている富山県立富山工業高等学校。1,000名近くの生徒が学ぶ活気にあふれた同校の中でも、土木工学科では先端の測量技術を中心に、設計・施工、製図など、土木に関する基本的な知識や技術の習得を目指した教育が行われています。地域産業の担い手として期待される生徒たちをどのような取り組みで伸ばし、どのような想いで育てているのか、土木工学科の高原洋平先生に伺いました。

富山県立富山工業高等学校
土木工学科

高原 洋平 先生

インターンシップは 就職先を選ぶ際の決め手のひとつ!

富山県東部の工業科中核校として期待されている同校。地域の団体や企業も、生徒の学びを力強くバックアップしている。「1、2年次には国土交通省や地元の建設業協会のご協力のもとで現場見学会を開催しているほか、型枠工事や鉄筋工事など各専門工事業団体の皆様からも本校にお声がけをいただき、講習会などを実施しています。実際に現場の雰囲気を感じ、そこで働く方の姿を目にすると、生徒も改めて“働くことのかっこよさ”を感じ、将来的に自分たちが働くイメージを持ちやすい

ようです。また、本校ではインターンシップに参加した企業へ就職を希望する生徒も多く、2年生の夏休み・3日間だけの体験ではあるのですが、企業や現場の雰囲気を感じ、肌で感じ、“自分にあっている”と認識することは、将来を選択する大きなポイントになっています。部活動が活発で先輩・後輩のつながりも強いので、先輩が勤める企業の働きやすさや給与・福利厚生を聞いて同じ企業に入社しようと決める生徒がいるなど、身近に頼れる人がいるという安心感も就職先を決めるうえでの重要な要素になっているのだと感じます」。

生徒の将来の活躍を見すえ、資格取得も積極的にサポートしている同校。

「土木工学科では国家資格である測量士補と2級土木施工管理技術検定（第一次検定）の資格取得に向けて取り組んでいます。特に2年生では測量士補試験前、1ヶ月半ほどかけて特別講習を組んで対策をするため、生徒の生活もガラッと変わり、緊張感の高い時期となります。私たち教員も“絶対に合格させてあげたい”という気持ちで取り組んでいますし、試験結果はもちろん大切なのですが、より重要なのは資格取得に向けて必死に努力した経験です。社会人になった後もずっと残るものを、そうした経験を通して育ててくれたらと思います」。

点と点を結び 新たな企画を発想!

釣りやカヌー、自動車模型づくりやボランティアなど、土木以外にも様々な趣味や活動に意欲的な高原先生。その多彩な好奇心こそ、アイデアの源泉となっている。「1つの分野を極めるのも素晴らしいことですが、私の場合は様々なものに興味の矛先が向くタイプ。好奇心を広げる中で見つけたものをコラボレーションさせて新たな企画を考えるなど、点と点を結ぶアイデアを発想し、実現していくことが好きなんです」。

以前に赴任していた富山県立桜井高校では生徒や地域のこどもたち、職人との

測量 授業

生徒が直感的に イメージしやすい授業を展開!



専門用語が頻出する土木の授業では、生徒がイメージしやすい・わかりやすい言葉に置き換えるなどして理解促進を図っている。「例えばリバーササーキュレーション工法やサンドコンパクションパイル工法など、馴染みの薄い言葉を教科書どおりに伝えるだけでは生徒のビジョンが追いつきません。身近なものに例えたり、わかりやすい解説動画を交えたり、スライド作りにも時間をかけたりして、生徒が直感的にイメージしやすい授業を心がけています」



文化祭では生徒製作による逆バンジーや、地元の建設会社ご協力のもとでの建設機械乗車体験などを企画。「建設機械乗車体験会は参加した子どもたちが喜んでくれたのはもちろん、ご協力いただいた職人・オペレーターの皆様がそうした子どもたちを見て嬉しそうにされていたことも印象的で、それぞれに学びや喜びのあるものになったと感じています」

コラボレーションにより、地元の児童館にピザ窯をつくるプロジェクトを企画した。「3回のワークショップを実施し、土木施工や大工、石職人といったプロフェッショナルの方々にご協力いただきながら、生徒や子どもたちと一緒にピザ窯をつくりました。職人の優れた技術を目の当たりにしながら、いろいろな世代の方が楽しみながら手を動かし、ジャンルを超えて一つのものをつくっていく貴重な経験をすることができました。子どもたちにも“ものづくりの楽しさ”が伝わり、新たな担い手を育む種まきができたことが嬉しかったですね。」

そうした高原先生の企画力・発想力は、本校でも存分に発揮されている。文化祭(富工展)では、地元の建設企業の方々の協力のもとでバックホウ・ロードローラー・高所作業車などの乗車体験会を実施したほか、高さ4mの“逆バンジー”なども企画し、生徒たちと共に実現した。「せっかくならこれまでにやっていないこと、面白いものづくりに取り組もうということで、安全対策にもしっかりと配慮した高さ4mの逆バンジーを製作しました。私自身も生徒と一緒にものづくりをするのは非常に楽しいこと。こうした取り組みを通して、生徒にも周りにも、さらに土木の魅力が伝わればと思っています。」



山折り・谷折りが連続する蛇腹式のカーテンの構造を応用した、自動車の逆走防止装置。逆走車両側のみに通行止めのマークが認識される仕掛けとしている。「道路に敷設することを想定し、グレーチングとして排水機能をもたせつつ、逆走を知らせられるデザインとしました。試行錯誤を重ねた経験は、生徒たちにとって色濃いものになったと思います」と高原先生

高いハードルを アイデアで越えていく!

北日本放送主催による工業高校生のものづくりを応援するコンテスト『ミラコン2020』では、生徒と共に自動車の逆走を防止するための研究開発に取り組んだ。

「自動車の逆走を防ぐ役割は一般的には自動車自体に搭載されるコンピュータやシステムが担うのですが、土木施工の分野からそうした逆走を防ぐことができないだろうか?というのが課題でした。様々なアイデアを検討する中でヒントになったのが、ホテルでの朝食時にふと目にした、窓の目隠しに使われる蛇腹式のカーテンです。あの山折りと谷折りが連続する構造を応用することで、逆走車両側のみに通行止めの表記(Xマーク)が見える道路をデザインすることができました。こちらは実際に自動車学校の敷地をお借りして車載カメラなどでも認識できることを確認し、実用化の可能性も視野に入れた取り組みとすることができています。」

高いハードルに直面した場合でも、それをクリアするアイデアを見つけ出す——高原先生が大切にしているのは、“どんな難問にも必ず答えはある”という言葉だ。

「某有名小説・ドラマに出てきた名言です

コレ推し!

土木建造物

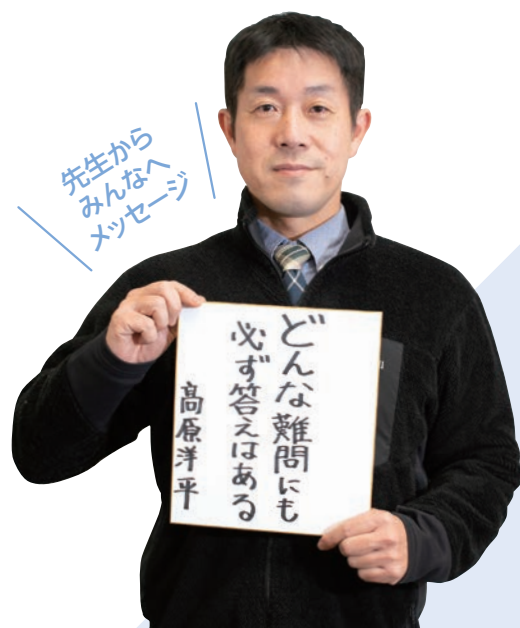


ミラージュランドの大観覧車

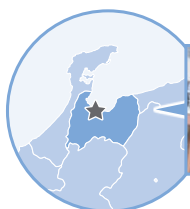
「趣味の釣りに出かけたとき、いつも目にするのがこちらの観覧車。日本海側では最大級の規模を誇るそうで、私にとって馴染み深い風景の一つです」と高原先生が語るのは、富山県魚津市にあるテーマパーク「ミラージュランド」で一際目を引く、高さ66mの大観覧車。頂上では富山湾と北アルプス・立山連峰を一望する大パノラマを満喫できます。

が、逆走防止の課題にあたった際にまさにその通りだと実感した、生徒たちにも伝えていきたい言葉です。絶対に解決できないのでは…と感じてしまう課題でも、必ず解決への答えは見つかる。そう信じて考え抜くこと、アイデアを発想し続けることが大切だと思っています。」

今後のプライベートでの目標を伺うと「ファイナンシャルプランナー3級試験と、2級船舶免許の資格取得!」と笑顔で答えた高原先生。多彩な好奇心の先に、生徒や子どもたちを夢中にさせる新たな企画・アイデアが生まれ続けている。



先生から
みんなへ
メッセージ



富山県立富山工業高等学校

〒930-0887 富山県富山市五福2238番地

WEB <https://www.toyama-th.tym.ed.jp/>

2024年度初めのサービス価格改定に注目

「賃金・物価の好循環」実現に向けた現在地

みずほリサーチ&テクノロジーズ 調査部 主席エコノミスト 河田 皓史

日本でも2%を超えるインフレが続いている。こうしたインフレに背を押される形で、高水準の賃上げを2年連続で実現させようとの機運も高まっており、政府・日銀が目指してきた「賃金・物価の好循環」の実現が現実味を帯びてきたとの見方も増えつつある。そこで今回は、賃金・物価の好循環の実現に向けて鍵を握る、サービス価格の動向について解説する。

インフレ長期化が賃上げを促している

長年にわたってデフレに苦しんできた日本のインフレ率が、2022年春以降、一年半以上にわたって2%を上回っている。そうした中、インフレによる実質賃金の減少を補うべく、労働者は高水準の賃上げを強く要求している。人口減少などを背景とする構造的な人手不足を受けて人材獲得競争が強まる中、経済団体首脳もこうした労働者の要求に対して前向きに応じる姿勢を示しており、一部の大企業は、交渉開始前から高水準の賃上げ実施を表明している。

政府・日銀は、賃金・物価が相互に上昇を促す形での「賃金・物価の好循環」を実現させることの重要性を度々強調してきたが、現在の状況を見ると、まさにこうした好循環が実現しつつあるようにも見える。実際、一部のエコノミストや市場参加者はそうした見方に立ち、日銀の金融政策正常化の時期・ペースなどについて活発に議論している。

しかし、本当に好循環は実現しつつあるのだろうか。インフレが賃上げを促すという「物価上昇→賃金上昇」のメカニズムが作動しているのは確かだろう。ただし、「循環」と言うからには、「賃金上昇→物価上昇」という逆方向のメカニズムの作動も不可欠である。したがって、賃金・物価の好循環の実現の鍵を握るのは、賃金上昇が販売価格に適切に転嫁されるかどうかということになる。その際、総コストに占める人件費の割合が高い「サービス」の価格がどうなるかが特に重要である。

サービス価格上昇の持続性は、賃上げで「岩盤」を突破できるか次第

2022年春以降のインフレの主因は、輸入物価上昇による「モノ」（食料品、日用品など）の価格の上昇であるが、この間、「サービス」の価格もじりじりと上昇している。

もっとも、サービス価格上昇の中身を詳しくみると、外食や宿泊料など一部の品目が全体を大きく押し上げる形になっており、その他の品目に目立った動きはみられない。つまり、現在のサービス価格上昇は、既往の原材料コスト上昇が外食価格などに波及していることが主因であり、そうしたコスト上昇の影響が剥落すれば、これらの伸び率は

鈍化する可能性が高い。この意味で、現在のサービス価格上昇の持続性はそれほど高くないとみられることもできる。

逆に、今のところ目立った価格上昇の動きがみられていない品目（授業料、家賃など）には、1990年代半ばまで他の品目と同程度の価格上昇率であったのが、デフレ期入り後、「春闘」という言葉が半ば死語になり、「ベアなしが当然」という雰囲気になる中で、ほとんど価格が動かなくなってしまったものが多い。こうした「岩盤」とでも言うべき品目にも動きが出てくるかどうか、サービス価格上昇の持続性、ひいては日本のインフレの持続性を決定づけるといっても過言ではないだろう。

鍵を握るのは中小企業の「値上げ力」

サービス価格の持続的上昇に向けて鍵を握るのは、中小企業の「値上げ力」である。価格交渉力の強い大企業と異なり、中小企業は価格交渉に苦勞することが多いとされるが、賃金上昇による人件費増加を販売価格に転嫁する必要性が大きいのは、むしろ中小企業である。なぜなら、中小企業は大企業と比べて労働分配率が高く、利益率が低いため、賃上げに伴う人件費増加を自社の利益の範囲内で吸収することが難しく、したがって販売価格に転嫁できるかどうかは文字通り死活問題になりうる。特に、労働集約的なサービス業では、こうした問題がより深刻になる可能性がある。

逆に言えば、価格交渉力が低い中小企業（特にサービス業の企業）でも、賃金上昇による人件費増加を販売価格に転嫁できるのが「当たり前」という雰囲気になってくると、「賃金上昇→物価上昇」のメカニズムも確立され、賃金・物価の好循環が本格的に回り始めたと評価できるようになるだろう。

当面の注目ポイントは、2024年度初めのサービス価格改定

サービスの価格改定期は、年度初めの「4月」に集中している。2年連続で高水準の賃上げが実現する可能性が高まる中、賃金・物価の好循環の実現に向けて、鍵を握るサービス価格がどの程度上昇するか、5月後半に公表される4月の全国CPIの結果に注目が集まるだろう。

新たな教訓突き付けた能登半島地震

日経クロステック建設編集長 浅野 祐一

新年早々、最大震度7の揺れをもたらした地震が能登半島を襲った。揺れによる古い住宅の倒壊だけでなく、ビルの転倒、市街地を焼き尽くす大火、街並みをうねらせる液状化など多様な被害をもたらした。本格的な調査は執筆時点ではまだ進んでいないものの、震災直後の段階で目立っていた被害を紹介する。

2024年1月1日午後4時10分ごろに発生した能登半島地震。石川県の志賀町や輪島市で最大震度7を観測した揺れは、住宅の倒壊や大規模な火災、津波をもたらし、石川県内で240人を超える死者を出した(2月21日時点)。今回は、この地震がもたらした被害についてまとめる。

地震によって輪島市の市街地に壊滅的な被害をもたらしたのが火災だ。市内ぎっての観光エリアである「朝市通り」の一带を中心に、焼失範囲は約5万㎡に及び、約300棟の建物が失われたとみられている。火災発生時の風は弱く、火災はゆっくりと進んだとみられる。

しかし、消火栓が使えなかったり、防火水槽を使う際に道が倒れた電柱で塞がったりして、水利上の問題があった。さらに、人口の少ない地域なので、そもそも消防力が小さかった点も鎮火を難しくした可能性がある。人口減少や高齢化が進む地方は多いので、こうした事情を踏まえて今後の防災体制を考えなければならない。

同じく輪島市内では地上7階建て鉄筋コンクリート造のビルが転倒した。メカニズムについては、本原稿の執筆時点ではまだ調査が十分に進んでいないものの、転倒方向の逆側の杭が引き抜け、反対側の下部構造に大きな圧縮力を加えながら転倒したとみられる。

このビルは、杭基礎の耐震性が考慮される前に建てられたビルであった。今後の調査結果などを踏まえ、建設年次が古い建物の杭基礎の扱いなどを議論していく必要があるようだ。

津波による浸水は県の想定内 液状化で水平方向に2m動く

石川県珠洲市では、震度6強の強い揺れによる住宅倒壊だけでなく、津波の爪痕も大きく残った。能登半島の北側から回り込んできた波が、浅い海で反射や屈折を繰り返して、増幅することによって被害をもたらした。ただ、今回の地震による津波は、事前に県が想定していた最大津波による浸水域や浸水深の範囲内におおむね収まったとみられる。

それでも、そもそも住宅自体が揺れて倒壊するといった被害が出たので、津波に備えて迅速に避難することが難しかったケースも出ている可能性がある。

石川県内灘町では、県道8号沿いの広い範囲で地盤の液状化被害が生じた。道路や建物敷地が大きくうねった箇所は少なくない。大規模な側方流動が起こったとみられる。

震災直後に現地を調査した京都大学防災研究所の山崎新太郎准教授の速報としての見立てでは、側方流動が起こったエリアは長さ約150m、幅約100mほどに及び、水平方向の変動量は約2mだという。住宅の基礎や上部構造の損傷も相当程度発生していると考えられ、復旧費用がかさむ可能性が高い。



石川県輪島市の市街地では、広域にわたって建物が焼失した(写真:右2点も日経クロステック)



液状化によって道路だけでなく、宅地もうねっていることが分かる



津波被害を受けた石川県珠洲市宝立町の鶏飼集落の状況

最終回

上限規制の施行まで残りわずか!!



働き方改革への最終チェック

5年遅れとされていた建設業における時間外労働の上限規制の施行まであとわずかです。働き方改革は単に労働時間を削減することが目的ではなく、生産年齢人口が減少し、働き手が不足する中、限られた時間の中で成果を上げるといった生産性の向上が本当の目的なのです。とはいえ、社内の労働環境を一気に変えることはできません。1つ1つの取り組みを重ね、上限規制への対応を準備していきましょう!!



Profile

社会保険労務士法人
アスミル
特定社会保険労務士
櫻井 好美

【第9回】採用

チェック項目

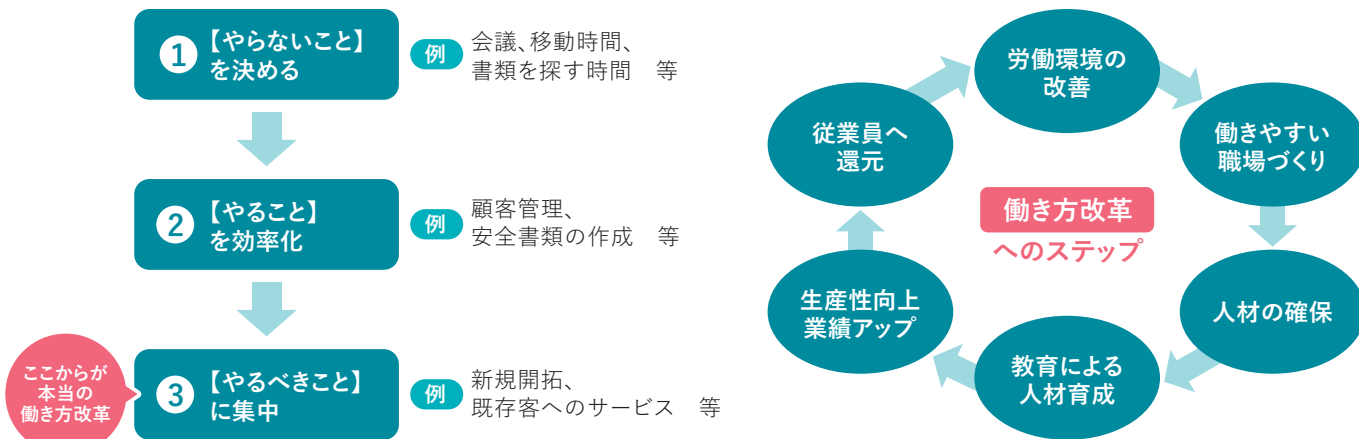
- 「見て覚えろ」からは卒業していますか？
- 教育の仕組みはできていますか？
- 自社を知ってもらう工夫をしていますか？

■「見て覚えろ」からの卒業

建設現場では、入社をするとはずばり先輩社員と一緒に現場に行き、仕事を覚えることから始まります。しかしながら、現場の仕事をすることが忙しい先輩社員が現実的に教えることは難しく、また仕事のわからない新入社員も、何をどう手伝えばいいのかわからない状況で現場に立たされても、ただただ見ているだけで仕事を覚えることはできません。ある会社では先輩の業務の様子をYou Tubeで撮影したものを、会社の教育フォルダーに保管し、新入社員はその動画をみながら現場に入るような仕組みを作っています。この結果、先輩社員も、一通りのイメージができていない新入社員には、共通言語があるため教えることに対するストレスは感じず、また新入社員もスマホで何度も映像をみるので、業務に対する恐怖心が薄れていきます。お金をかけなくても、工夫次第で教育は出来るのです。

■働き方改革は「生産性向上」

働き方改革の目的は「生産性向上」です。時間外労働を削減し、業務の効率化が終わったところが働き方改革のゴールではありません。効率化したあとは、本来やるべきことに時間を集中させなくてはならないのです。本来やるべきことができることで自社の強みが生まれます。また、生産性が上がることで、人材確保、定着率向上、従業員へ還元への循環となっていきます。この好循環をまわしていきましょう。



取組事例

きっかけ **きっかけは「新入社員の離職」**

高校卒業の新入社員を迎えましたが、連続での退職がありました。退職の理由は2名とも「仕事が覚えられない」ということを知り、これは本人の努力の問題だけでなく、会社の教え方にも問題があるのではないかと疑問に思ったところからスタートしました。

事例紹介 協力会社

会社名：株式会社 リンクス
コーポレーション
所在地：千葉県 船橋市
業種：内装仕上工事業
従業員数：10名



社内での教育体制

新入社員を現場に連れていっても教える時間もないため、社内で教えることを検討しました。学校で多少の座学はやってきていたため、実技をどう教えるか悩んでいたところ、会社敷地内の使われていない倉庫があることに気づき、そこで実際の作業を教えていくことにしました。時間的に余裕があるためマンツーマンで教えることができたこと、また失敗をしても問題がないということから、自信を持つまで繰り返し練習をすることができました。



インターンシップの実施

就職してからのミスマッチを防ぐためにインターンシップを実施しています。実際の現場をみることで、仕事の大変さを感じてもらおうと、小さな現場から大きな現場までみてもらうことで、自分が、会社で働くイメージをもってもらえるようになりました。

業界組合との教育の仕組みづくり

学生を呼び込むにしても、自社だけの影響力は弱いことから、千葉県室内装飾事業協同組合と合同で、実技研修会を実施しました。実際に体験をすることで内装業界に興味を持ってもらうことができ、参加した女子学生は、ミッキーマウス等のキャラクターのクロスを自分で貼ることで、業界を近くに感じてくれたようです。また教えている先輩職人達も、生徒から質問されることで職人魂にも火がついたようでした。1社だけでは大きなイベントの開催は難しいのですが、業界の組合との共同で実施することにより、内装業界の魅力の発信、教育を実施することができました。そして、そこに参加した学生が応募してくれるような働きかけをしています。



今後の課題

教育を充実させることで、社員の定着への一歩を踏み出すことができました。今後はメンター制度や定期的な面談等、社内でのフォロー体制整備をしていくことが今後の課題としています。

まとめ

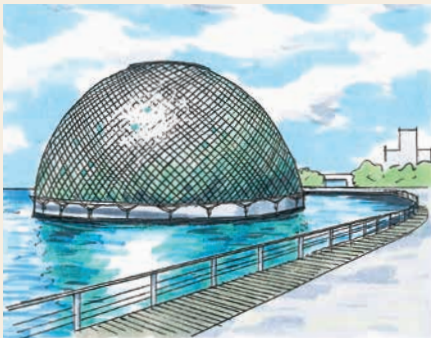
いよいよ建設業においても時間外労働の上限規制がスタートします。準備はいかがでしょうか？ 時間外労働の削減には、正解も画期的な方法ありません。いくら素晴らしい仕組みやシステムを導入しても、それを理解して運用が出来なければ意味はないのです。100社あれば100社のやり方があります。働き方改革の実現には、経営者の決断とやり抜く力が必要です。小さな一歩を踏み出し、魅力ある会社をつくっていきましょう。

クイズ 名建築の 作り方

第15回

海上の巨大ガラス ドームどうつくった？

長く閉館していた「なにわの海の時空館」
(2000年開館、2013年閉館)の利活用が決まった。
海面に頭を出したシャボン玉のようなガラスドームの中に、
木造の帆船が収まる展示施設だ。この建物は、
立地を生かしたユニークな施工プロセスでつくられた。



なにわの海の時空館

- 所在地: 大阪市住之江区南港北2-5-20
- 設計: 大阪市港湾局、ポール・アンドリュウ・アーキテクト・ジャパン建築事務所
- 施工: 大成建設・不動建設・東洋建設JV ■延べ面積: 2万699㎡
- 構造: 鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- 施工期間: 1998年3月～2000年5月

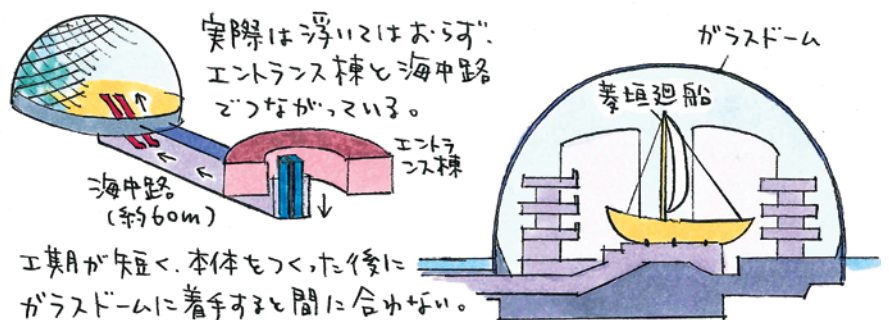
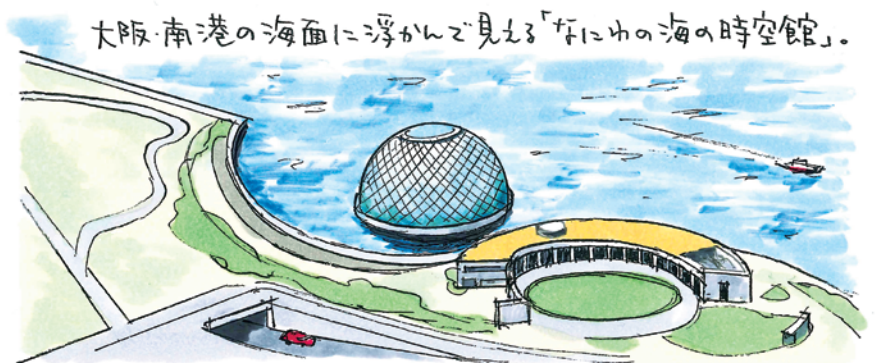
クエスチョン Question 問題

海に浮かぶような
ガラスドームを
どうつくった？

1 ガラスドームだけを
別の海辺で作り、
船で運んでかぶせた

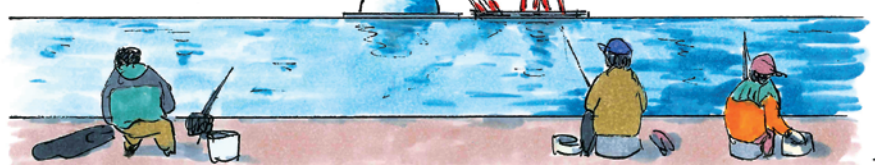
2 全体を
別の海辺で作り、
船で運んで浮かべた

3 ガラスドームと下部を
それぞれ異なる海辺
で作り、船で運んで
合体させ、浮かべた



そこで60km離れた播磨の
工場がガラスドームも製作。

海路で現場の沖合に
運び、その時も待つ。



ガラスドーム だけを船で 運んでかぶせた

「なにわの海の時空館」は大阪市がフランスの建築家、ポール・アンドリュウ（1938～2018年）に設計を依頼して建設し、2000年に開館した。直径70m、高さ35mの巨大ガラスドームと、その中に収まる原寸大の菱垣廻船（木造の帆船）が大きな話題となった。しかし、来場者数が低迷し、2013年に閉館した。

それから10年間、利活用策が見つからないままだったが、2023年11月、大阪市は利活用の事業者を選ぶ公募型プロポーザルで、観光コンサルティングなどを手掛けるシンフォニクスリールを選定したと発表した。

旧施設の目玉展示だった菱垣廻船を活用した体験型ミュージアムとして運営する。MR（複合現実）技術を使い、ファッション

や芸術文化の魅力発信を目指す。25年春から新施設を一部開業する予定で、ぎりぎり大阪・関西万博に間に合わせる狙いだ。

最大の要因は工期短縮

さて、この施設、どうやってつくったのか。ガラスドームが海に浮かんでいるように見えるが、下部（博物館本体）は海底の地盤から立ち上がっている。従って、冒頭の問いの答えは（1）だ。工場で製作したガラスドームをフローティングクレーンで吊り上げ、本体にかぶせるという前例のない施工法を採った。施工は大成建設・不動建設・東洋建設JVが担当した。

なぜそんな方法なのか。当時、ポール・アンドリュウ氏はこう説明している。「最大の要因は工期。もし現場でドームをつくるとすると、本体工事が終わりに近づくまでドームの組み立てが始められない。もうひとつの要因は精度。広々とした工場で製作した方が、完璧なクオリティーのものができる」。

ガラスドームは川崎重工業播磨工場で製

作した。鉄骨のラチスシェルに、ガラスをはめたもの。ガラスはDPG工法と呼ばれるサッシを用いない方法で固定した。外からはガラス面しか見えない。総重量は約1200t。工場段階では中段部分だけガラスを設置していない。吊り上げ用のワイヤーを取り付けるためだ。

チェーンブロックで位置を調整

ガラスドームは1999年11月5日朝に工場を出て、同日午後、約60km離れた大阪・南港北の現場に到着。現場から500mほど離れた海上に係留された台船の上で二晩を明かした。

1999年11月7日の朝、フローティングクレーンで吊り上げ、本体の上へ。午前10時半、多くのギャラリーが見守る中、吊り下ろしが始まった。

ドームを本体の真上に掲げ、垂直に下ろすという単純な作業だ。だが、所定の位置に誤差15mm以内で下ろさなければならない。下ろす過程で何かに触れてしまったらガラスが割れる。

幸いこの日は風速2m程度の微風で波もほとんどなかった。吊り下ろし開始から1時間後、本体基壇部から約2mの高さまで下ろしたところで、本体との間にチェーンブロックを掛け渡す。計8か所のチェーンブロックの締め付けによってガラスドームの位置を微調整した。

本体の4か所に高さ1mの鉛筆状のポストがあり、ドーム側のプレートの穴をくぐらせる。ドームは先端部分の傾斜に導かれ、定められた位置に下りていく。12時15分に吊り下ろし作業は無事終了。夕方には吊り上げ用に設置されていたリングも外された。

ちなみに、展示物の菱垣廻船は日立造船でつくられ、ガラスドームをかぶせる前に海上クレーンで搬入した。

2013年に閉館した後の利活用の検討過程では、菱垣廻船を外に運び出すという議論もあったようだ。もう一度ガラスドームを持ち上げて、別の何かを入れるシーンが見られたのかもしれない。だが、ここはやはりポール・アンドリュウ氏が目指した当初の姿に近い形で再スタートすることを楽しみにしよう。

イラスト・文

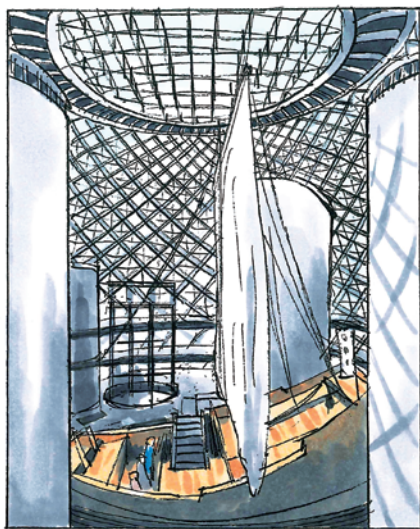
宮沢洋：

画家、編集者、BUNGA NET編集長。1967年生まれ。2016年～19年まで建築専門誌「日経アーキテクチュア」編集長。2020年4月から編集事務所Office Bungaを共同主宰。書籍「建築巡礼」シリーズのイラストを担当



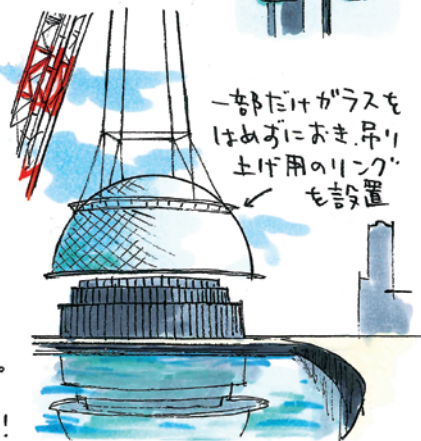
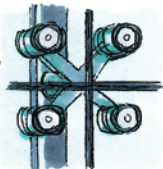
参考文献・資料

日経アーキテクチュア1999年11月29日号、同2024年1月11日号



ガラスドームは頂部がリング梁で、周囲は鋼管格子にタイロッドも掛け渡した構成。ガラスはDPG工法により、サッシも使用せずに固定した。シャボン玉のような柔軟な構造。

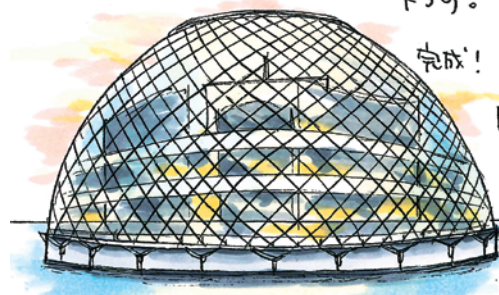
※DPG工法：穴もあけたガラス同士も →



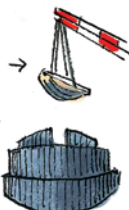
一部だけがガラスもはめずにおき、吊り上げ用のリングも設置

総重量1200tのガラスドームもフローティングクレーンで吊り上げ、チェーンブロックで調整しながら下ろす。

完成！



目玉の展示物のあざ菱垣廻船も海路で運んで搬入した。こんなに海も使った現場は珍しい。





を活用しよう!

就業履歴を蓄積しよう!

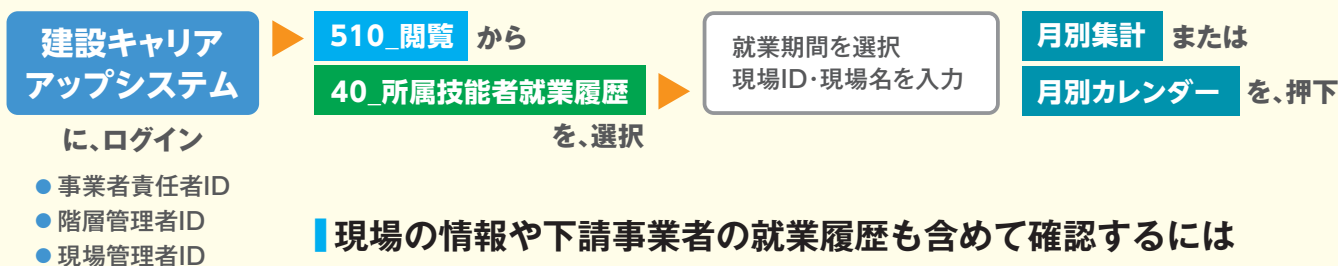
— 技能者の就業履歴は適切に登録されていますか? —

技能者が日々、現場でCCUSカードにより登録している就業履歴は、個々の技能者のキャリアを示すものであり、能力評価の判定(レベルアップ)に必要不可欠なものです。

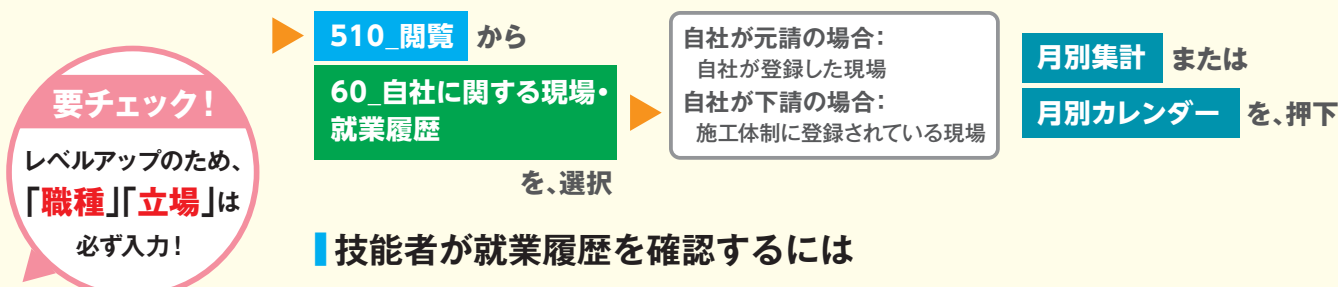
2023年9月号でお知らせしたとおり、レベルアップに必要となる2024年4月以降の経歴は、CCUSに蓄積された就業履歴のみ有効となります。

就業履歴が適切に登録されるよう、所属の技能者やご自身の就業履歴が蓄積されているか、蓄積された就業履歴データの内容に不足は無いかなど、今一度確認いただくとともに、これまで就業履歴を蓄積していない技能者の方も就業履歴を蓄積できるよう、業界全体で取り組んでいきましょう。

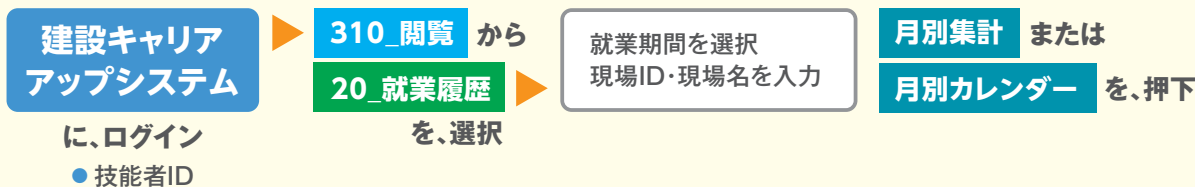
所属する技能者の就業履歴を確認するには



現場の情報や下請事業者の就業履歴も含めて確認するには



技能者が就業履歴を確認するには



- ▶ 就業履歴の直接入力・修正については、技能者本人または所属事業者(具体的には事業者責任者、第一～第三階層管理者)が行うことができます。
- ▶ なお、現場管理者、代行登録担当者は就業履歴の直接入力・修正をすることはできません。
- ▶ 就業履歴を直接入力・修正した後、元請事業者の承認が必要です。
- ▶ 就業履歴の直接入力・修正および元請事業者による承認は、就業日の翌月末まで可能です。

建設業経理士

CPD講習

1級
2級

国土交通大臣登録番号第1番

「建設業経理士CPD講習」について

登録経理講習とは、建設業法施行規則第18条の3第3項第二号に規定されている講習であり、登録経理試験合格者（1級建設業経理士および2級建設業経理士）の継続教育を目的としたものです。経営事項審査においては登録経理試験の合格後5年を経過した者は、「登録経理講習」を受講しかつ試験に合格しなければ、評価対象となりません。但し、令和5年3月までは経過措置が適用されており、「登録経理試験」合格者のすべてが経営事項審査で評価されます。

本財団は「登録経理講習」の実施機関第1号として、国土交通省に認定され、「建設業経理士CPD講習」の名称で実施しています。



「建設業経理士CPD講習」は講義と試験で構成されており、試験に合格すると講習修了証が交付されます。

受講対象者

- ①登録経理試験1級若しくは2級 合格者
- ②1級・2級建設業経理士登録講習会を受講された方（建設業経理検定1級・2級合格者）

講習時間

講義6時間+試験1時間=計7時間

受講料

18,000円(税込)

講習形態

オンライン講習 会場講習(映像・対面)

申込方法

オンライン講習：ホームページより申込 会場講習：ホームページまたは郵送による申込

可否結果

- ①オンライン講習……講習日翌日から10営業日後(マイページで確認)
- ②会場講習……講習日翌日から約1ヶ月程度(可否結果を郵送)

有効期限

修了年月日から5年を経過した日の属する年度の年度末(3月31日)まで

講習受講の目安

受講申込の前に必ずホームページでご確認ください



https://kssc-keiri.com/seminar_criterion.html

受講対象者講習受講の
目安はこちら

お問い合わせ

一般財団法人 建設業振興基金 建設業経理士CPD講習受付センター

TEL : 0570-018-081 FAX : 0570-038-096

お問い合わせ対応時間：9:00~12:00/13:00~17:00(土日・祝日を除く)

<https://kssc-keiri.com>

建設業経理士CPD 検索



フロンティア FRONTIER

建設の最前線へ!

PROFILE

ひらの ともひろ
平野 智洋 さん
株式会社森建設
車両部 課長
鹿児島県出身



「重機に乗る、重機を操る。それが楽しい!」笑顔で現場を率いる重機オペレーター!

愛機であるバックホウを自在かつダイナミックに操り、高度な技で滑らかに法面を仕上げる——土木工事の要とも言える重機オペレーターとしてその腕をいかんなく発揮する、株式会社森建設の平野智洋さん。第一線で活躍する平野さんのキャリアは、高校の頃にふと目にした重機の「格好良さ」に惹かれたことから始まった。「どんな企業で働こうかと考えていた際、森建設の車庫の前に停まっていた新車のブルドーザーを目にしたことが入職のきっかけ。乗り物が好きな自分にとってとても魅力的に映り、「絶対にこれに乗りたい!」という想いから当時の先生に相談したところ、会社に直接連絡をとっていただき、面接を経て採用に至りました。あの時の出会いや周りのサポートがなければ、今の自分は無かっただろうと思います」と当時を振り返る。

入社後は先輩たちの指導のもと、現場で実践を重ねて技術を磨いた。「最初は何もわからない状態で、重機なんてすぐに乗りこなせるだろうという自信はすぐに崩れ去り(笑)、先輩たちについていって懸命に仕事を覚える日々でした」。今も思い出すのは、初めて一人で法面整形をしたダム工事の現場だ。「自分自身はまだまだ経験不足と感じていた中、当時の現場監督から「やらなきゃいつまでも上手くならない」と仕事を任せ、必死になって仕上げました。無事にやり終えた後はこれまでにない疲労感を覚えました、その分達成感も大きかったです」。また、なかなか褒めることのなかった現場監督が「腕を上げたね」

と言葉をかけてくれた現場も忘れられない。「それ以後は一人前の職人として扱ってくれるようになりました。自分の成長が認められたと実感でき、非常に嬉しかったです」。

高速道路やダム建設といった大規模な工事をはじめ、様々な現場で経験を積み重ねてきた平野さん。周りを率先する立場として、心がけていることを伺った。「安全を最優先するのは当然として、心がけているのは「笑顔のある明るい現場」にしておくことです。笑顔が無いということは、心に余裕が無いということ。そうなると、逆に危険性が高くなると感じています。困難な場面に直面したとしても気分をマイナスに持たず、笑顔で臨むことを意識しています」。

平野さんを突き動かす原動力は、この仕事を始めた当初から持ち続けている「楽しい」という想いだ。「重機に乗る、重機を操る。それ自体が私自身にとっての大きな楽しみ。仕事の後にバックホウの模型を使ってバケットの動きを研究するなど、好きなものにはとことん熱中できるタイプなんです。入職を検討されている方以外でも、乗り物に興味があったり、重機を格好いいと感じる方であれば、建設業の世界で働くのもきっと面白いはず。女性の入職も以前に比べて増えています。重機オペレーターにも積極的に挑戦して活躍していただき、一緒に明るい現場をつくっていただければ嬉しいです!」

Great Job!



株式会社
森建設
総務部課長

前田 浩幸 氏

建設業における人手不足は深刻な問題です。当社では、若い方々に少しでも興味を持ってもらえるように、ICTやメタバースを積極的に導入し、これまでの3K(きつい、汚い、危険)のイメージを払拭できるように努めています。また、ノー残業デーの設定、メンター制度の導入など、様々な取り組みを実施していくことにより、定着しやすく働きやすい環境作りをこれからも続けていきたいと思っております。

建設人材育成優良企業表彰「優秀賞」を受賞